

床暖房用フローリングの保管・施工・ご使用について

この度は弊社製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。
ニットの床暖房用フローリングは、空気中の水分を吸収又は放出する働きがあります。その結果として「膨張」「収縮」などを生じ施工状況によっては、不具合を引き起こす場合があります。より良い仕上がりにつながる為に、下記の要領に則って施工してください。尚、当製品は内装用です。外装には使用しないで下さい。

保管上の注意

- 水がかかりやすい箇所、湿気の強い箇所、直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- 保管には、水平な場所に同じ高さの**3本のリングを置いて水平に**保管してください。

施工前の注意

- 無垢フローリングは、一枚一枚色柄が違いますので、貼り始める前に**仮並べをし、色・柄のバランスをとって**施工してください。万一、色・柄及び品質上、意に沿わない物がありましたらご面倒でもお知らせください。但し**施工後における苦情・お取り替えについては応じかねますので施工前にお問い合わせくださる様**お願い致します。

施工上の注意

- 床暖房用(含水率7%)とサイド用(含水率12%)を混用しないようお願い致します。
- 電気式熱源、温水式熱源のどちらにも使用できますが、熱源の小根太タイプには絶対に使用しないでください。(小根太タイプはしっかりと固定できないため、フローリングが動く恐れがあります。根太は45mm以上を使用し、50mm以上のスクリー釘で1枚1枚しっかりと固定してください。)
- 床下の防水を完全に施してください。
- 換気口を十分に設けてください。
(建築基準法施工令：外壁の床下部に壁の長さ5m以下毎に300cm以上の換気口設置)
- 必ず耐水合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上を使用し、合板の間は2～3mmあけて施工してください。又、床下の湿気が多い場合は0.1mm厚以上の防水シートを根太と捨て貼り合板の間にしき込んで施工してください。
- 大引き、根太は必ず乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
(乾燥が十分でないと、クラック・反りの原因となります)
- 大引き間隔は3尺、根太は45mm角以上を使用し、根太間隔は1尺(303mm)とし、レベル(水平)を出して施工してください。
(レベルが出ないと踏み鳴りの原因となります)
- 糊釘併用で施工してください。釘は50mmのスクリー釘でしっかりと根太に固定し、接着剤は根太専用の接着剤を使用してください。直接釘を打つと実が割れたりヒビが発生することがありますので一度釘穴を開けてから釘打ちしてください。
(一般の木工用ボンドは踏み鳴りや熱による密着不良の原因となりますので床暖房専用の耐熱性接着剤をご使用ください。又、実には、接着剤は絶対使用しないでください)
- 無垢材の性質上、床暖房をかけるとある程度収縮しますので**実はキツ目に施工**してください。又、壁部は3～5mm程度あけて施工してください。
- 表面は、独自の塗料で仕上げがしてありますので、塗料の重ね塗りは絶対しないでください。又、無塗装で購入され、施工後塗装をされる場合は**実と実の間に塗料が入り込まないように**充分ご注意ください。(塗料が入り込むと、実と実とがくっつき将来、実が割れることがあります。)
- 施工終了後は、必ず養生してください。養生テープは必ず専用の床養生テープを使用し、フローリングには直接貼らないで下さい。(床養生テープを直接貼り付けるとフローリングの塗膜が剥がれるおそれがあります。)

ご使用上の注意

- カーペットやストーブなどを常時同じ場所で使用するとその部分だけが高熱となり、フローリングの隙間や反りの原因となりますので、カーペットやストーブなどは長時間、同じ場所で使用しないでください。できるだけ床暖房用フローリングの上には、カーペットなどを敷き詰めないようにしてください。
- 床暖房用フローリングに**直接長時間、同じ場所で接すると低温やけどになる恐れ**がありますので、同じ場所での長時間使用(睡眠など)は避けてください。
(特に幼児、お年寄り、泥酔者等は気をつけてください)
- 日頃のお手入れはカラぶきで、特に汚れがひどい時には、うすめた**中性洗剤をつけた布**でふいてください。(ぬれ雑巾は避けてください。)

NITO

株式会社日東

JAS認定工場
JPIC-FL58

本社：〒885-0055 宮崎県都城市早鈴町2130-1 TEL(0986)24-2323 FAX(0986)24-2365
東京出張所：TEL 080-8395-7010 奈良出張所：TEL 090-8419-9544
千葉出張所：TEL 090-3071-4795 高知出張所：TEL 090-4977-8767